

WEEKLY REPORT

それでは職業奉仕の実践とはどういう事なのか。RI規定審議会でも職業スキルを活かした奉仕活動と追記されておりますので、実践の機会と捉えがちですが、本来の職業奉仕の実践とは、それぞれの職業における理念にどれほど真摯に取り組めるかという事になります。併せて業界の発展や次世代にいかにか伝えるかという部分も実践の一つであります。それを確認する機会とでも言いましょうか、自分を律する機会とでも言いましょうか、それが例会出席の目的の一つであり、その中で切磋琢磨して共に繁栄していく事が実践の一部でもあります。

参考としてのお話ですが、数人の漁師が業界の将来を考え「将来なりたい職業ランキングTOP10に漁師を」という活動を始めました。するとそれは自らも公正で顧客に喜んでほしい利益も生む運動となっていきます。シェルドンが提唱した奉仕理念を忘れることなく、地域社会のニーズを満たす奉仕活動を行うためにも、その土台である自らの職業の繁栄が不可欠であります。卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

<諸事お祝い>



高橋一彦会員
ご婦人誕生日お祝い
おめでとうございます！



《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士

社会奉仕基金 2,604円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



理念委員会幸松様による卓話の様子

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 63.9%

第2423回 例会 2024年 1月31日(水)

- | | | | |
|----------------|---------------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | ゴードンR. マッキナリー | ■例会日 | 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 鶴沢 和広 | ■例会場 | 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13Gガバナー補佐 | 鈴木 悦郎 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 小澤 直之 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<第2423回 例会プログラム>

司会 大川高明会員

12:30 点鐘	小澤直之会長
ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	
12:33 お客様紹介	柳孝実会長エレクト
12:35 会食	
12:50 例会再開	
会長挨拶・報告	小澤直之会長
幹事報告	高橋一彦幹事
13:00 卓話	理念委員会幸松様
13:20 【委員会報告】	
出席親睦委員会 本日の出席率発表	佐久間委員
社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	大塚精一委員長
13:30 四つのテスト斉唱	
点鐘	小澤直之会長

<会長挨拶>

小澤直之会長

連日ニュースで騒がれていますが、豊洲市場の隣に「千客万来」という商業施設と温泉施設が明日2月1日に開業します。

この温泉施設は24時間営業で、毎日箱根と湯河原温泉から40tから60tの源泉をタンクローリーで運んできているらしいです。

また商業施設のほうは江戸の町を再現していて65店舗の飲食店などが並んでいるそうで、豊洲市場が隣接しているのでやはり海鮮系が多いみたいです。当然インバウンド客がターゲットだと思いますが、食事もいい値段設定ですね。市場直送の新鮮なネタを使っているのもわかりますが、チラッと映像で飛び込んできた マグロ丼が7千円くらいで提供されていました。私にはなかなか踏ん切りがつかない金額です。

あるエコノミストの方がいわく「低価格の物が売れる状況が続いては、日本経済は復活しない。高価格で良いものが売れる状況になれば、企業が儲かり、企業の賃上げ・日本の経済の底上げにつながる」と述べ、良いものを高い値段で売ることがポイントだとしています。

確かに賃上げについては今年から来年にかけての大きな課題だと思いますが、大手企業は5%とか7%とかの賃上げの予測をしていますが、私の会社みたいに零細企業にとっては一番きつい時期が到来してきたのではないかと感じます。

賃上げに対応して、取引先に対して価格転嫁して見積金額に反映すると相見積もりで負けてしまう。というように、しばらくは辛抱する時期だと思いますけど、いずれバランスが取れて努力した分の対価が利益となるように前向きに頑張っていきたいと思います。

そして今月はロータリー職業奉仕月間という事もあり、理念委員会の幸松委員長お越しいただいていますので、頂戴する卓話から何かヒントが得られればと思います。



<幹事報告>

高橋一彦幹事

第5グループガバナー補佐より、IM「地域そして世界で良いことをしよう」へのご案内でございます。

以下、当日のスケジュール(入場無料、事前申し込み不要)

令和6年3月2日(土)

場所:かずさアカデミアホール

千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9

開会:13:45

基調講演:14:10~15:45

「みんな地球に生きる人、未来に担う子供を育てる」

講師:アグネス・チャン

スプリングコンサート:15:45~16:15「日本製鉄君津吹奏楽団」

終了予定時間:16:30



ご興味があり参加ご希望の方は会長・幹事まで確認をお申し付け下さい。

<卓話>

理念委員会幸松様

「職業奉仕について」

今年度は、地区の理念委員長として活動しております。

第13グループ松戸東ロータリークラブに所属しております幸松康彦と申します。

今月は職業奉仕月間という事もあり、職業奉仕は難しいと思う会員も多いかと思いますが、要因は何かと考えてみると、職業奉仕を崇高な哲学のように感じ、それと現在の自分の職業に対する取り組みに解離を感じてしまう点などが考えられます。職業奉仕を難解と感じてしまえば先に進みにくいですが、より身近に感じられるとしたら、理解は深まるのではないかと思います。

親睦を目的として出発したロータリーが、会員同士の物質的相互扶助という考えに至ったのは、当時のシカゴの社会情勢を考えれば自然な成り行きと言えるでしょう。

「奉仕の理念」「職業奉仕」に関して、キーパーソンはアーサー・フレデリック・シェルドンであります。多くの文献と多くの解釈があり、様々な方向から伝わってきた経緯により、職業奉仕を難解にしている原因かもしれません。シェルドンの奉仕理念を簡単に言えば、事業を継続するための科学的かつ合理的な原理原則に基づいた経営方法であります。それはIdeal Serviceの「社会のニーズを望む形で満たす事」や、One profits most who serves bestの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」などの表されている通り、その健全な経営が利益を生み、それ自体が社会への貢献であるという考えから生まれたものであります。

